

茨中・茨高の先生方は、熱心に授業内容を考え、いつでも質問に答えてくれます。プロジェクターを使ったり、生徒どうしが教えあう「学びあい」を取り入れたりと、生徒が自ら学べるような工夫をしてくれます。充実したサポートがあるので、安心して学習を進められます。また、課外授業がたくさん用意されているのも魅力です。教科ごとにレベル別で用意されているので、発展的なことから復習まで好きなレベルの授業を選んで受けられます。コロナウイルスの影響により学校へ行くことが難しくなった時も、オンライン課外やメールで解答の添削もしてくれました。小テストをしたり生徒に質問を投げかけたりしていただけるので、苦手をなくしながら勉強することができました。課外授業があることで、友達と学ぶ時間が増え、放課後にはわからない問題を教えあったり教科書の内容についての早押しクイズをしたりと、共に学ぶ仲間も作ることができました。また、進路決定においては、大学ごとの男女比や偏差値などの特徴や過去問の傾向などを生徒の成績や性格を考え、生徒に合った受験校選択をサポートしてくれました。受験校が決定すると、たくさんの先生が、過去問の添削や面接・小論文指導など志望校の合格のために応援してくださいました。私が医学部に合格できたのは、茨中・茨高の中高一貫教育カリキュラムがあったからだと思います。中学生のときは学習のペースを自分で作るのは難しかったのですが、授業が大学受験対策を見据えた速さで進むので、部活動や学校行事を楽しみながらもしっかりと学習に取り組むことができました。

6年間で一番印象に残っていることは、中高続けた水泳部の活動です。卒業後も遊んだり、連絡を取り合える先輩や後輩、同級生と出会うことができました。きつい練習も励ましあい、アドバイスしあいながら乗り切り、部室で勉強を教えあったこともとてもいい思い出です。また、顧問の先生も一人一人の性格を尊重し、勉強と部活動が両立できるよう配慮してくれたので、両立しながら勉強も課外活動も頑張ることができました。また、体育祭・文化祭もとても印象に残っています。茨中・茨高の体育祭・文化祭は生徒が主役の行事です。計画から発表、運営まで生徒が行います。体育祭では縦割りで4色チームに分かれて戦うので、先輩や後輩とのつながりができ、チームごとの伝統が受け継がれていきます。文化祭ではクラスごとに計画を練り、約3日間出し物を作ります。クラスみんなで協力し、1つのものを作り上げると感動と深い友情がうまれました。部活動と体育祭・文化祭と主に2つの印象に残ったことを挙げましたが、茨中・茨高で過ごしたどの時間も私にとっては刺激的でいい思い出です。友達と教室で話した休み時間、登下校、授業も充実した時間でした。

茨中・茨高の良いところとして、まず1つ目は「伝統を大切にすること」だと思います。「報恩感謝」の建学の精神をととても大切にしています。実際私も、自分たちが学習できる環境があることに感謝し、茨中・茨高に少しでも貢献出来たらいいなと思い、掃除や生徒会活動に積極的に取り組みました。多様化する社会でも共通して大切な、感謝するところを育むことができる建学の精神を茨中・茨高は大切にしています。また、生徒の個性を大切にすることも茨中・茨高の良いところだと思います。私の学年にも個性豊かな人がたくさんいました。スポーツに熱中する人、音楽に熱中する人、筋トレに熱中する人、ペンギンに熱中する人…挙げていったらきりがありません。中学入学時から個性的な人はたくさんいたのですが、大きな図書館がありたくさんの経験や知識を持つ先生方がいらっしゃることで、自分の好きなものを追求し共有することができ、卒業時にはより個性豊かに成長していました。そんな仲間と6年間ともに過ごすことで、新しい自分を見つけることもできます。夏休みや冬休みには海外の学生と交流する機会があり、英語を使うことが好きな自分を見つけることができました。また、友達に勧められて聴いた歌手がとても好きになり、音楽が好きな自分もつけることができました。茨中・茨高は感謝

と素敵な出会いがある学校です。

私は医学部に進学します。これからは一層、勉強にも体力づくりにも人間力の育成にも努力をしようと思います。これまでの茨中・茨高での素敵な出会いや貴重な経験に感謝し、それらを活かして社会に貢献できる優しく頼れる医師を目指して頑張ります。つらい時もあるかもしれませんが、そんな時は茨中・茨高の「報恩感謝」を思い出し、学べる環境や応援してくれる人に感謝して夢を実現します。医師になったら、両親や茨中・茨高の先生方をはじめ、お世話になった方々の健康で豊かな生活をサポートしていきます。茨中・茨高卒業生として、胸を張れるようこれからも頑張ります！